

菓子自治会

盛んな親睦活動

菓子自治会では年間通してたくさんの行事が行われている。運動会は滝沢第二小学校のグラウンドを使い、自治会内 10 に分かれた町内会での対抗戦となる。人数の過不足がある場合は町内会同士で人数調整をできる制度にし、人口の増減に左右されず長年継続していける工夫を行っている。老若男女が楽しめるよう様々な競技を設けており、世代間交流の場も充実している。

夏祭りは子ども会で駄菓子やヨーヨー、フランクフルト、自治会で焼き鳥やビール、わたあめ等の屋台を出す。その他にもスイカ割りやさんさ踊り、フラダンス、保育園児のダンスの披露など内容が盛り沢山。開催場所をケアハウスの駐車場としているため、入居者との交流にもつながっている。また、夏祭りのポスターは子どもたちが作成し、ポスターコンクールも実施している。



夏祭りのスイカ割り

文化伝承会は毎年1月、葉の木沢山活動センター全館を使って開催される。ベーゴマや羽根つき、餅つき、みずき団子づくり等、様々な遊びを楽しむことが出来る。

その他にも輪なげ大会、親睦旅行、敬老会、夢あかり、山車まつり等が実施されている。親睦旅行は日帰りで宮古や花巻、青森まで訪れることもあり、心待ちにする年配者も多い。夢あかりは夏祭りと同様ケアハウスで行い、駐車場をカラフル

に飾る。ケアハウスの方々が甘酒を提供することもあり、繋がりが形成されている。



文化伝承会

コロナ禍でもできること

令和2年、3年はコロナ禍でほとんどの行事が中止となってしまったが、会費を正しく使い自治会のみなさんに還元するため、全町内会でテントを買い替えた。以前使用していたものと比べ簡単に組み立てられるワンタッチテントを購入したことで、コロナ収束後は様々な行事で活躍が期待される。また、敬老会を中止とした代わりに、対象者に記念品をお届けした。

今後の展望

災害や困ったときのもしにも備え、日頃から地域のコミュニケーションがとれる自治会にしたい。そのためには地域のみなさんに積極的に自治会活動に参加をしてもらうことが重要。活動を盛り上げてくれるのはやはり子どもたち。これからも子どもたちをはじめ、地域の方々が参加したいと思えるような楽しい行事を行っていききたい。



左から門場春美氏(事務局長)、関勝三氏(自治会長)、鈴木千栄子氏(副会長)、取材時撮影